

冬季の下北半島におけるカモシカマダニの人体刺症例

角田 隆*

長崎大学熱帯医学研究所生物環境分野病害動物室 (〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4)

(受領: 2017年5月30日; 掲載決定: 2017年7月13日)

A human case of tick infestation with *Ixodes acutitarsus* in Shimokita Peninsula, northern Japan in winter

Takashi TSUNODA*

*Corresponding author: tsunoda@nagasaki-u.ac.jp

Department of Vector Ecology and Environment, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University, 1-12-4 Sakamoto, Nagasaki City, Nagasaki 852-8523, Japan

(Received: 30 May 2017; Accepted: 13 July 2017)

Abstract: A 57-year old male, who had taken part in a field investigation of Japanese serow, *Capricornis crispus*, was bitten by a tick in Shimokita Peninsula in Aomori Prefecture, northern Honshu, Japan in late December 2007. The female tick was found attached to his left chest. The author, who also took part in the field investigation, removed the tick with forceps. Examination of the tick revealed that it was *Ixodes acutitarsus* (Acari: Ixodidae). As the mean temperature on the day that he was bitten was 3.7°C, this suggests that *I. acutitarsus* is active at around 0°C.

Key words: tick bite, Japanese serow, *Ixodes acutitarsus*, winter

緒 言

カモシカマダニ *Ixodes acutitarsus* (Karsch) は北海道を除く国内各地のほか台湾, 中国南部, ミャンマー, ネパール, インドにかけて分布し, マダニ属のうち体の大きさが最大である (Yamaguti et al., 1971). 本種による国内の人体刺症例は高田ら (1978) による多数例をはじめ, 沖野ら (2010) によって1959年から2005年までの全国の症例がまとめられたほか, 山内ら (2010) による富山県での症例が報告されている. しかしながら, これらの報告における刺症例は4月から10月にかけて発生しており, これまで冬期間の例はなかった.

今回, 12月下旬の青森県下北半島脇野沢村で, ニホンカモシカ *Capricornis crispus* (Temminck) の生息調査を行った際に著者の同行班員にカモシカマダニの刺咬を観察したので概要を報告する.

症 例

発生日付

2007年12月28日の日中に脇野沢村内の山林に入った後の夜間.

患者

当時57歳の男性, 東京都在住の公務員.

咬着部位

左胸部.

自覚症状

マダニの咬着した皮膚局部に軽い痛み.

処置

著者がピンセットで摘除したが, 著者が目視した限りでは口下片が基部まで挿入されていなかった.

マダニの同定

虫体は未吸血で形態的に完全であり, 生かしたまま実験室に持ち帰り, Yamaguti et al. (1971), 高田 (1990) にもとづきカモシカマダニの雌と同定した.

後遺症

およそ1週間後に患者に問い合わせしたところ, マダニ媒介感染症を疑わせるような発熱, 発疹, 頭痛, 筋肉痛, 嘔吐などは見られなかった.

考 察

本症例は時期こそ異なるが, 刺咬を受けた場所と状況は高田ら (1978) と同様に青森県下北半島の山林でカモシカの生息調査中に起きたものである. わが国ではカモシカマダニの人体刺症例は4月から10月にかけて発生しており, 刺咬を受けた環境, 場所についてはおそらく山林で登山・土木作業中に発生したと推定される症例が多い (沖野ら, 2010). また, 台湾での本種による刺症例はすべて雌であり, 患者は4月から12月にかけて標高1,500mから2,000mの高度帯を登山中に起こった (Chao and Shih, 2012).

青森県下北郡脇野沢村 (現在, 青森県むつ市脇野沢) における2007年12月28日の平均気温は3.7°C, 最高気温は6.5°C, 最低気温は0°C, 降雪量合計は0cmであった (国土交通省気象庁, 2017). ヒゲナガチマダニとオオトゲチマダニの成虫は冬季0°C以下になっても植生上で活発に活動する (山内,

2016). 従って、今回の症例はカモシカマダニも同様に0°C付近でも宿主に取り付けることを示唆している。

高田ら(1978)の報告では、本種に刺咬された後は痛みを感じたためマダニを認識できて、ほとんどはその日のうちに注意深く摘除されたと記載されている。本症例でも患者が皮膚の咬着部位に軽い痛みを感じていたことや口下片が基部まで挿入されていなかったことから、咬着してからあまり時間の経たないうちに摘除されたものと考えられる。

謝 辞

症例収集に際してご協力をいただいた落合啓二氏、天笠敏文氏ならびに下北半島カモシカ調査グループの方々に深謝する。

文 献

Chao, L.-L. and Shih, C.-M. 2012. First report of human biting activity of *Ixodes acutitarsus* (Acari: Ixodidae) collected in Taiwan. *Exp. Appl. Acarol.*, 56: 159–164.

国土交通省気象庁. 2017. 過去の気象データ・ダウンロード [accessed May 9, 2017]. <http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>.

沖野哲也, 後川 潤, 的場久美子, 初鹿 了. 2010. 本邦におけるマダニ類人体寄生例の概観—文献的考察— (5) カモシカマダニおよびアカコッコマダニ刺症例. *川崎医学会誌*, 36: 115–120.

高田伸弘. 1990. 病原ダニ類図譜. 216 pp., 金芳堂, 京都.

高田伸弘, 藤田博己, 山口富雄. 1978. 東北地方におけるマダニ類の研究. 2. マダニ寄生例, とくに大型種カモシカマダニによる多数例について. *衛生動物*, 29: 216–218.

山内健生. 2016. 病気を起こすダニ ① (マダニ). *ダニのはなし—人間との関わり—* (島野智之, 高久 元編), pp. 26–42. 朝倉書店, 東京.

山内健生, 福井米正, 渡辺 護, 中川彦人, 上村 清. 2010. 富山県におけるマダニ人体刺症の40例. *Med. Entomol. Zool.*, 61: 133–143.

Yamaguti, N., Tipton, V. J., Keegan, H. L. and Toshioka, S. 1971. Ticks of Japan, Korea, and the Ryukyu Islands. *Brigham Young Univ. Sci. Bull. Biol. Ser.*, 15: 1–226.